

日本宗教学会  
第76回学術大会

2017年9月15日(金)～17日(日)

【会場】

東京大学（本郷キャンパス）

法文1号館・2号館

# 「お知らせ」と「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取り下さい。名札は、常に身に付け、お帰りの際にはご返却下さい。
2. **理事会承認後の発表題目、パネル構成員の変更は一切認められません。**プログラムと同一にして下さい。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においで下さい。
4. **申し込み時にパソコン用プロジェクターの使用を申請された方へ**  
個人発表の場合は発表の2番前、パネル発表の場合は開始20分前までに、会場係にお申し出下さい。
5. 発表時に配布する資料は、数に余裕をもってご用意の上、会場係にお渡し下さい。(会場での複写は受け付けません。)
6. **発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。**
  - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分(初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分)
  - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保下さい。  
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの準備に時間が必要なことを考慮して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
8. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表して頂きます。
9. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をして下さい。
10. **個人発表の『宗教研究』別冊用要旨について**  
20頁『『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、9月22日までに、編集委員会に送信して下さい。
11. **パネル発表の『宗教研究』別冊用要旨について**  
20頁『『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、**代表者が発表者全員分をとりまとめて**、9月22日までに、編集委員会に送信して下さい。  
また代表者は、「パネルの主旨とまとめ」と「パネルの欧文タイトル」、コメンテータの「コメント」を、9月29日までに、編集委員会に送信して下さい。
12. 会場の配置については、24～25頁の会場配置図をご覧ください。

---

大会受付	法文2号館2階 1番大教室前
------	----------------

---

大会実行委員会本部・学会本部	法文1号館1階115教室
----------------	--------------

---

クローク(大会実行委員会本部内)	法文1号館1階115教室
------------------	--------------

---

会員休憩室	法文1号館2階211教室・3階311教室/法文2号館2番大教室
-------	---------------------------------

---

# 大会日程

## 9月15日（金）

学会賞選考委員会	法文2号館3階 第三会議室	12:30-13:30
庶務委員会	法文2号館2階 教員談話室	13:00-14:30
国際委員会	法文1号館2階 218教室	13:00-14:00
情報化委員会	法文1号館3階 318教室	13:00-14:00
開会式	法文2号館2階 1番大教室	14:30-14:40
公開シンポジウム	法文2号館2階 1番大教室	14:40-17:40
テーマ	「歴史のなかの大学と宗教研究」	
提題者	増澤 知子（ミシガン大学教授） 鶴岡 賀雄（東京大学教授）	
コメンテータ	林 淳（愛知学院大学教授） 久保田 浩（立教大学教授）	
司会	藤原 聖子（東京大学教授）	
理事会	法文2号館2階 教員談話室	18:00-20:30

## 9月16日（土）

研究発表（個人）	法文1号館1~3階 各会場	9:00-12:40
評議員会	法文2号館2階 1番大教室	12:40-14:00
研究発表（個人、パネル）	法文1号館1~3階 各会場	14:00-16:00
会員総会	法文2号館2階 1番大教室	16:20-17:40
懇親会	山上会館（本郷キャンパス内）	18:00-20:00

## 9月17日（日）

研究発表（個人）	法文1号館1~3階 各会場	9:00-12:15
編集委員会	法文2号館2階 教員談話室	12:15-13:00
プログラム委員会	法文2号館3階 第三会議室	12:15-13:00
研究発表（パネル）	法文1号館1~3階 各会場	13:15-15:15

# 開催校からのお知らせ

本年度の学術大会へご参加いただくにあたり、開催校としてお知らせしておきたいことがございます。ご一読くださいますようお願い申し上げます。

- (1) 会場には大会参加者用の駐車場はございません。自家用車での来場はご遠慮願います。やむを得ない事情で自家用車で来場されたい場合は、予め大会実行委員会までお問い合わせください。なお、会場へのアクセス、キャンパス地図については21頁以下をご参照ください。
- (2) 発表会場は、法文1号館の教室を使用しますが、会場ごとに部屋の大小や机の配置等に大きな違いがあります。会場によっては、狭すぎる、あるいは広すぎると感じられることがあるかもしれませんが、ご理解ください。
- (3) クロークでは、お荷物をお預かりする用意はございますが、貴重品・衣服については預かりかねます旨、ご了承ください。
- (4) 昼食は会場のある本郷キャンパスの東大生協食堂メトロ（法文2号館安田講堂側地下）をご利用いただける予定です（営業時間は11時から14時）。ただし、収容数がさほど多くありませんので、時間的に心配な方は、昼食をご持参いただくか、付近のコンビニエンスストア・弁当店等をご利用ください。構内にもコンビニがあります。周辺の飲食店は日曜定休のところが多いのでご注意ください。会員休憩室では、飲食が可能です。
- (5) 会場内に出版社による書籍展示ブースを設けています（法文1号館1階116・117教室）。
- (6) 会場に自由に使用できるコピー機は設置しておりませんので、配布資料などは部数に余裕をもって予め各自でご用意ください。
- (7) 会場では学内WiFiは使用できません。ご了承ください。
- (8) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページを通じてお知らせします。
- (9) 構内での喫煙は、所定の場所をお願いします。
- (10) **大会直前、および期間中に緊急に連絡する必要がある場合の連絡先は、大会ホームページでご確認ください。**

# パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

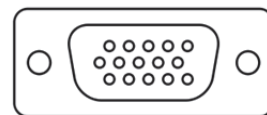
第76回学術大会での発表において、パソコン用プロジェクターの使用を希望される方は、以下の注意を熟読してください。

発表申込の際に機材の使用申込が行われない場合、また発表申込後に変更がある場合、対応はいたしかねます。

機器の動作について完全な動作保証は難しいため、ご心配な方は事前に大会実行委員会にご相談ください。

## ① パソコンを持参する場合

各部会会場で使用するパソコン用プロジェクターは、VGA (D-Sub15 ピンのアナログ接続) (右図) にのみ対応しています。音声出力は可能です (オーディオケーブルは会場にあります)。



HDMI、DVI、USB などの接続方式には対応していません。

パソコンによっては (Macintosh 等)、直接接続できない場合がありますので、VGA 変換アダプターをご持参ください。

また、ご持参のパソコンが接続できないトラブルも起こりえますので、USB メモリーにプレゼンテーション資料を保存してお持ちください。

## ② パソコンを持参しない場合

USB メモリーで、プレゼンテーション資料を、十分な時間的余裕をもって各会場にお持ちください。

USB メモリー以外の記録メディアをお使いになる場合は、USB 接続に変換する機器を各自ご持参ください。

事前にお持ちになる記録メディアのウイルスチェックを必ず行ってください。

会場に用意されるパソコンは、Windows 7 (日本語版) で、PowerPoint 2013 です。音声の出力も可能です。

他の OS (Macintosh, UNIX 等) や他のソフトウェア (Keynote, OpenOffice.org 等)、特殊フォントには対応しておりませんので、ご注意願います。

# 公開シンポジウム

## 歴史のなかの大学と宗教研究

### 趣旨

東京大学には、1905年という世界的にみても早い時期に宗教学の講座が設けられて以来、多くの大学に宗教研究の場が生まれて、日本の学術的宗教研究は質量ともに豊かな成果を挙げてきました。その後およそ一世紀半、大学における宗教研究が置かれている状況は、制度上も、研究方法の点でも、また宗教・政治・社会的状況の面でもさまざまな変遷を経てきました。このシンポジウムでは、宗教研究と大学との関わりを歴史的に振り返りながら、近代日本における宗教研究の歴史、特徴、現状を、とくに大学制度に視点を据えて、欧米のそれとの対比の中で明らかにし、今日的課題についての展望を得ることをめざします。

**日時** 2017年9月15日（金）14：40－17：40（14：00 開場）

**会場** 法文2号館2階 1番大教室

**次第** 趣旨説明 藤原 聖子（東京大学教授）  
提題1 鶴岡 賀雄（東京大学教授）  
提題2 増澤 知子（ミシガン大学教授）  
コメント1 林 淳（愛知学院大学教授）  
コメント2 久保田 浩（立教大学教授）  
休憩  
ディスカッション

※ 提題を含めすべて日本語で行います。All presentations will be given in Japanese.

### 登壇者紹介

増澤 知子（Tomoko MASUZAWA） ミシガン大学教授（歴史学・比較文学）

東京都生まれ。国際基督教大学卒業（1975年）後、イエール大学で修士号（宗教哲学、1979年）、カリフォルニア大学サンタバーバラ校で博士号（宗教学、1985年）を取得。グッゲンハイム財団フェロー、プリンストン高等研究所会員。

ヨーロッパ思想史を専門とし、なかでも近代の宗教言説、人文科学の歴史に関心がある。最新の研究成果として、19世紀の大学改革運動において宗教と世俗の領域がどのように立ち上がったかを論じたモノグラフを刊行予定（*Making of the Academic Secular: the University Reform Movements in the Nineteenth Century*）。著書に、*In Search of Dreamtime: the Quest for the Origin of Religion*, 1993（『夢の時を求めて』中村圭志訳、玉川大学出版部）、*The Invention of World Religions: Or, How European Universalism Was Preserved in the Language of Pluralism*, 2005（『世界宗教の発明』中村圭志訳、みすず書房）。他に、近年の論文として、“The Bible as Literature?—Note on a Litigious Ferment of the Concept,” 2013、“Striating Difference: from ‘Ceremonies and Customs’ to World Religions,” 2014。

鶴岡 賀雄 (つるおか よしお) 東京大学大学院人文社会系研究科教授

近世スペインを中心に、西洋の神秘思想、宗教思想を研究。主要著作、『十字架のヨハネ研究』(創文社、2000年)、(共編著)『〈宗教〉再考』(ペリカン社、2003年)、(共編著)『岩波講座 宗教』(岩波書店、2003~2004年)、(共編著)『スピリチュアリティの宗教史』(リトン、2010~2012年)。

林 淳 (はやし まこと) 愛知学院大学文学部教授

専門は、近世陰陽道と近代仏教。近世近代の宗教史の叙述に関心をもつ。主要著作、『近世陰陽道の研究』(吉川弘文館、2005年)、『天文方と陰陽道』(山川出版社、2006年)、(共著)『ブッダの変貌』(法蔵館、2014年)、『修験道史入門』(岩田書院、2015年)、『シリーズ日本人と宗教』(春秋社、2014~2015年)。

久保田 浩 (くぼた ひろし) 立教大学文学部教授

近代ドイツ宗教史を中心に、近現代のヨーロッパにおける宗教と学問、宗教と民族主義の関連等を研究。主要著作、『*Religionswissenschaftliche Religiosität und Religionsgründung*, 2005、(共著) *Religion and National Identity in the Japanese Context*, 2002、(共著) *The Study of Religion Under the Impact of Fascism*, 2007、(共著)『宗教とファシズム』(水声社、2010年)、(共編著)『「呪術」の呪縛』(リトン、2015~2017年)。

藤原 聖子 (ふじわら さとこ) 東京大学大学院人文社会系研究科教授

主要著作、『「聖」概念と近代—批判的比較宗教学に向けて—』(大正大学出版会、2004年)、『ポスト多文化主義教育が描く宗教—イギリス〈共同体の結束〉政策の功罪—』(岩波書店、2017年)。

---

## 関連企画

---

### 1. 特別展示 歴史のなかの大学と宗教研究—東大宗教学研究室保存資料から—

公開シンポジウムのテーマに合わせ、歴史の諸断面をあらわす資料を展示します。

主な展示予定資料

- ・姉崎正治 「宗教学概論」講義ノート、書簡
- ・宗教学講座創設 25 年記念 宗教学文献展覧会 目録
- ・1958 年第 9 回 IAHR 世界大会時のツアー・パンフレット、バッジ
- ・岸本英夫図書館葬の式次第

場所：15 日 法文 2 号館 2 階 1 番大教室横

16・17 日 法文 1 号館 2 階 210 教室

### 2. 特別セッション

公開シンポジウムでご提題いただいた増澤知子先生をコメンテータに迎えて、「大学制度から近代日本の宗教研究を再考する (Reconsidering Religious Studies in Modern Japan in Light of the Institutionalization of Universities)」と題する、英語による特別セッションを行います。

詳細は、本冊子プログラムの 6 頁 (第 1 部会の頁) をご覧ください。

There will be a related session conducted entirely in English on the 16<sup>th</sup>, 14:00-16:00, in Rm 113.

# 第1部会 (113教室)

9月16日 (土)

【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 人文情報学を活用した宗教学の教材作成をめぐる一試論      | 土井 裕人 (筑波大)      |
| 2. 9:25- 9:45  | 岡正雄の日本神話・宗教研究                  | 山田 仁史 (東北大)      |
| 3. 9:50-10:10  | マクロヒストリー、文化進化論等による宗教・文化観の特徴と示唆 | 濱田 陽 (帝京大)       |
| 4. 10:15-10:35 | 理神論における自然的宗教について               | 諸岡道比古 (弘前大)      |
| 5. 10:40-11:00 | R. オッターと G. ジンメル—宗教的アプリオリを中心に— | 藁科 智恵 (東京外国語大)   |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教現象学批判とその後                    | 宮嶋 俊一 (北大)       |
| 7. 11:30-11:50 | 文体論と宗教史—E. アウエルバツハの業績を中心に—     | 掛川 富康 (茨城キリスト教大) |
| 8. 11:55-12:15 | エリアーデにおける神秘主義概念の構築—マッキオロとの関連—  | 奥山 史亮 (北海道科学大)   |
| 9. 12:20-12:40 | ポスト宗教概念批判の宗教学を構想する             | 近藤 光博 (日本女子大)    |

【午後】 大会実行委員会企画 日本宗教研究諸学会連合共催 英語使用

**特別セッション 大学制度から近代日本の宗教研究を再考する**

代表者：藤原 聖子

- |             |                                |                          |
|-------------|--------------------------------|--------------------------|
| 14:00-16:00 | 学問制度の近代化と宗教研究—国家による制度構築の視点から—  | 江島 尚俊 (田園調布学園大)          |
|             | 帝国大学における「神学」—波多野精一—による基督教学の構想— | 小柳 敦史 (北海学園大)            |
|             | 明治時代の仏教系高等教育機関における僧侶養成課程—比較分析— | ヴィクトリア・モンローズ (南カリフォルニア大) |
|             | 哲学化する宗教思想—学問的に宗教はどのように翻訳されたか?— | 松野 智章 (東洋大)              |

コメンテータ：増澤 知子 (ミシガン大)

司会：藤原 聖子 (東大)

9月17日 (日)

【午前】

- |                |                                |               |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20  | ライシテの諸類型—フランスのセクト・ヴェール論争をもとに—  | 田中 浩喜 (東大)    |
| 2. 9:25- 9:45  | ケベックの倫理・宗教文化教育をめぐる近年の論争        | 伊達 聖伸 (上智大)   |
| 3. 9:50-10:10  | 世俗化の形成—概念史的考察—                 | 諸岡 了介 (島根大)   |
| 4. 10:15-10:35 | チャールズ・テイラーの多元的な実在論             | 坪光 生雄 (一橋大)   |
| 5. 10:40-11:00 | 多元主義、日本の宗教性、宗教概念等への海外研究者の最近の見解 | 渡辺 光一 (関東学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教多元論の功罪についての—考察               | 南部千代里 (大正大)   |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教共同体論と日本宗教史                   | 小田 淑子 (関西大)   |
| 8. 11:55-12:15 | オーソブラクシー再考—宗教類型論をほぐすために—       | 関 一敏 (九大)     |

【午後】

**パネル 井筒「東洋哲学」のパースペクティブと宗教研究**

代表者：澤井 義次

- |             |                         |                  |
|-------------|-------------------------|------------------|
| 13:15-15:15 | 応用倫理の領域における井筒「東洋哲学」の可能性 | 池澤 優 (東大)        |
|             | 西谷啓治と井筒俊彦における「意識」に関する比較 | 長岡 徹郎 (京大)       |
|             | 東洋的芸術を通じた井筒俊彦の東洋思想・哲学観  | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |
|             | 井筒俊彦の「東洋哲学」観と宗教理解の特質    | 島藪 進 (上智大)       |

コメンテータ・司会：澤井 義次 (天理大)



# 第2部会 (112教室)

9月16日 (土)

【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | スピノザにおける普遍的信仰の教義               | 大野 岳史 (東洋大)     |
| 2. 9:25- 9:45  | 「無」としての美的状態—シラーの美学理論における神秘思想—  | 田口 博子 (白百合女子大)  |
| 3. 9:50-10:10  | キルケゴールと読者論                     | 谷塚 巖 (京大)       |
| 4. 10:15-10:35 | ニーチェの救済論—時と意志—                 | 中路 正恒 (京都造形芸術大) |
| 5. 10:40-11:00 | ユングの悪理解                        | 宮下 聡子 (お茶の水女子大) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教における反知性主義とウィリアム・ジェイムズ        | 林 研 (大阪保健医療大)   |
| 7. 11:30-11:50 | シュヴァイツァーの倫理思想とカント哲学の関係性        | 岩井謙太郎 (中部学院大)   |
| 8. 11:55-12:15 | シモーヌ・ヴェイユの宗教哲学—「注意」の概念を手掛りにして— | 脇坂 真弥 (大谷大)     |
| 9. 12:20-12:40 | ハイデッガー「黒ノート」における唯一神批判について      | 田鍋 良臣 (大谷大)     |

【午後】

- |                |                                |                |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 14:00-14:20 | 宗教思想におけるガダマーの〈聴くこと〉概念の意義       | 岡田 勇督 (京大)     |
| 2. 14:25-14:45 | リングス思想とスピリチュアリティ               | 日高 悠登 (阪大)     |
| 3. 14:50-15:10 | 宗教哲学は現在どのように語られているのか           | 佐藤 啓介 (南山大)    |
| 4. 15:15-15:35 | 独我論という問題—ウイトゲンシュタイン、大森荘蔵、ヒッカー— | 橘田 直樹 (名古屋商科大) |
| 5. 15:40-16:00 | 「私」を肉体の死後も存続させる試みについての哲学的考察    | 冲永 宜司 (帝京大)    |

9月17日 (日)

【午前】

- |                |                          |                  |
|----------------|--------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | (発表なし)                   |                  |
| 2. 9:25- 9:45  | (発表なし)                   |                  |
| 3. 9:50-10:10  | 比較宗教学としての宗教認知科学          | 藤井 修平 (東大)       |
| 4. 10:15-10:35 | グールドとドーキンス—宗教と科学の狭間で—    | 十津 守宏 (ユマニテク短大)  |
| 5. 10:40-11:00 | 新無神論と現代無神論—その科学信仰的要素について | 谷内 悠 (東大)        |
| 6. 11:05-11:25 | メソポタミアの神像にまつわる儀礼の構造      | 細田あや子 (新潟大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 古代エジプトのマアト女神と二柱のマアト女神    | 肥後 時尚 (関西大)      |
| 8. 11:55-12:15 | メソポタミア宗教研究の問題点           | 渡辺 和子 (東洋英和女学院大) |

【午後】

- |  |                   |
|--|-------------------|
| <b>パネル 20世紀ユダヤ哲学再考—政治と宗教のはざまで—</b>       | 代表者：伊原木大祐         |
| 13:15-15:15 ユダヤ教の倫理的評価の転回—ユダヤ・カント主義を中心に— | 後藤 正英 (佐賀大)       |
| フランツ・ローゼンツヴァイクのメシアニズム                    | 佐藤 貴史 (北海学園大)     |
| エルンスト・ブロッホとユダヤ性の問い                       | 伊原木大祐 (北九州市立大)    |
| ユダヤ的政治哲学の困難と可能性—レヴィナスの超越論から—             | 松葉 類 (京大)         |
|  | コメンテータ：合田 正人 (明大) |
|  | 司会：伊原木大祐 (北九州市立大) |

# 第3部会 (219教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                               |                 |
|----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | ヘブライ語聖書の文学的研究の広がり可能性          | 岩崎 大悟 (関西学院大)   |
| 2. 9:25-9:45   | 復讐、赦しとエレミヤ書における「新しい契約」        | 田島 卓 (国際基督教大)   |
| 3. 9:50-10:10  | 旧約聖書の降霊術に関するキリスト教教父の釈義について    | 高井 啓介 (東大)      |
| 4. 10:15-10:35 | デルポイの神託とピュティアについて             | 小堀 馨子 (帝京科学大)   |
| 5. 10:40-11:00 | 『ヘルメス文書』に見られる「場所」概念の考察        | 津田 謙治 (西南学院大)   |
| 6. 11:05-11:25 | オリゲネス『ヨハネ福音書注解』とヨハネ福音書研究      | 佐々木 啓 (北大)      |
| 7. 11:30-11:50 | カッシアヌス『靈的談話集』における涙の扱い         | 坂田奈々絵 (日本学術振興会) |
| 8. 11:55-12:15 | 帝政後期ローマ宗教史におけるジェンダーと奢侈をめぐる考察  | 中西 恭子 (東大)      |
| 9. 12:20-12:40 | 一神教文化における共同体と協働—古代～中世キリスト教から— | 土居 由美 (東大)      |

【午後】

- |                |                               |              |
|----------------|-------------------------------|--------------|
| 1. 14:00-14:20 | ルター以前のカトリック教会における救済観          | 水口 隆司 (同志社大) |
| 2. 14:25-14:45 | J. カルヴァン『共観福音書注解』における「聖定論」の登場 | 森川 甫 (京大)    |
| 3. 14:50-15:10 | フランシス・ベイコンと改革の精神—宗教改革と近代—     | 下野 葉月 (東大)   |
| 4. 15:15-15:35 | 中世から近世にかけての西欧における神秘思想の変容      | 渡辺 優 (天理大)   |
| 5. 15:40-16:00 | ニコラ・バレの自己無化思想—その特徴と思想史的位置付け—  | 熊谷 友里 (東大)   |

9月17日(日)

【午前】

- |                |                               |                  |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20   | カトリック神学における「体験」の問題について        | 寒野 康太            |
| 2. 9:25-9:45   | 魔女とメディア—西洋近世キリスト教社会の他者表象—     | 黒川 正剛 (太成学院大)    |
| 3. 9:50-10:10  | ウェスレーと英国社会                    | 野村 誠 (共愛学園前橋国際大) |
| 4. 10:15-10:35 | バルト神学におけるキリスト教教育—「生の光」論から見る—  | 阿久戸義愛 (東北学院大)    |
| 5. 10:40-11:00 | ニーバー・リバイバルとその背景               | 澤井 治郎 (天理大)      |
| 6. 11:05-11:25 | 正教会における神の超越性・内在性思想をめぐる        | リアナ・トルファシュ (南山大) |
| 7. 11:30-11:50 | 行と性—フロレンスキイとロザノフの対話—          | イボウ・ブラジミロブ (京大)  |
| 8. 11:55-12:15 | ドイツ民族主義宗教運動における「ナザレのイエス」表象の諸相 | 久保田 浩 (立教大)      |

【午後】

- |                                 |                     |
|---------------------------------|---------------------|
| パネル デュルケーム宗教学思想の可能性—没後100年によせて— | 代表者：山崎 亮            |
| 13:15-14:55 「宗教学者」デュルケームの生成     | 山崎 亮 (島根大)          |
| イタリア宗教学派はデュルケームをいかに読んだか？        | 江川 純一 (東大)          |
| デュルケームとアメリカ哲学—その距離と接点—          | 堀 雅彦 (北星学園大)        |
|                                 | コメンテータ：竹沢尚一郎 (国立民博) |
|                                 | 司会：山崎 亮 (島根大)       |

# 第4部会 (217教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                               |                |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | オイグニースのマリア伝における写本研究—現状と課題—    | 上條 敏子(藤女子大)    |
| 2. 9:25-9:45   | 『黄金伝説』におけるマグダラのマリア伝と13世紀の救済論  | ジョン・モリス(駒沢女子大) |
| 3. 9:50-10:10  | アベラルドゥスの救済論                   | 矢内 義顕(早大)      |
| 4. 10:15-10:35 | トマス・アクィナスの愛徳論における分有概念         | 芝元 航平(白百合女子大)  |
| 5. 10:40-11:00 | フライベルクのディートリヒにおける能動知性論        | 若松功一郎(早大)      |
| 6. 11:05-11:25 | 「数学的神学」としてのクザーヌス思想—近年の研究動向から— | 島田 勝巳(天理大)     |
| 7. 11:30-11:50 | ポレートからエックハルトへ?—「神化」思想を中心に—    | 村上 寛(日本学術振興会)  |
| 8. 11:55-12:15 | ガブリエル・ピールにおける原罪論              | 辻内 宣博(東洋大)     |
| 9. 12:20-12:40 | 「私の花は実である」—エックハルトの因果同一の思惟構造—  | 田島 照久(早大)      |

【午後】

- |                |                               |                 |
|----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 14:00-14:20 | 宗教哲学の伝道—網島梁川による宗教体験の言説化をめぐって— | 古荘 匡義(龍大)       |
| 2. 14:25-14:45 | 新渡戸・内村門下のキリスト者と「明治」           | 村松 晋(聖学院大)      |
| 3. 14:50-15:10 | 生命主義者であった賀川豊彦の宗教概念—「学」より「感覚」— | スティグ・リンドバーク(京大) |
| 4. 15:15-15:35 | 金子白夢牧師の思想形成について               | 菅原 研州(愛知学院大)    |
| 5. 15:40-16:00 | 主の祈りの唱え上げ—自己と祈りテキストの遠近—       | 山口 勇人           |

9月17日(日)

【午前】

- |                |                                |                       |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 神の国運動と戦争                       | 黒川 知文(愛知教育大)          |
| 2. 9:25-9:45   | ペンテコスタリズムと断絶性                  | 野口 生也(東京福祉大)          |
| 3. 9:50-10:10  | 神の書きかえをめぐって                    | 小林 紀由(日大)             |
| 4. 10:15-10:35 | キリスト教における霊障と死者供養—K. マッカルの事例から— | 中里 巧(東洋大)             |
| 5. 10:40-11:00 | キリスト教と仏教の対話—エコ・フェミニスト神学の視点から—  | 張 旋(京大)               |
| 6. 11:05-11:25 | 修道院のなかの禪                       | 峯岸 正典                 |
| 7. 11:30-11:50 | 華人キリスト者たちの文脈形成—「世界華人福音運動」を通して— | アルベルトゥス=トーマス・モリ(立命館大) |
| 8. 11:55-12:15 | 東西の対立は中動態の文法によって越えられる          | 高橋 勝幸(南山宗教文化研究所)      |

【午後】

パネル 日蓮遺文の編纂と刊行

代表者：三輪 是法

13:15-15:15 中世における録内御書・録外御書の書写

寺尾 英智(立正大)

近世における『御書』出版の展開

堀部 正円(日蓮正宗教学研鑽所)

編年体御書目録の編纂について

木村 中一(身延山大)

近代における日蓮遺文集編纂に関する一考察

安中 尚史(立正大)

コメンテータ・司会：三輪 是法(身延山大)

# 第5部会 (216教室)

9月16日 (土)

## 【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | タイナト後の「ヨシヤの改革」研究史              | 高橋 優子 (酪農学園大)   |
| 2. 9:25- 9:45  | イスラエルのガリラヤ地方出土のシナゴグの宗教史的意義     | 市川 裕 (東大)       |
| 3. 9:50-10:10  | 『北フランスヘブライ語写本』が伝える中世ユダヤ社会の諸相   | 勝又 悦子 (同志社大)    |
| 4. 10:15-10:35 | ユダヤ共同体とムスリム政府との相互関係—中世エジプトの場合— | 嶋田 英晴 (國學院大)    |
| 5. 10:40-11:00 | アブラハム・アブラフィアの預言論               | 志田 雅宏 (日本学術振興会) |
| 6. 11:05-11:25 | 17世紀ヴェネツィアにおけるユダヤ宗教観           | 李 美奈 (東大)       |
| 7. 11:30-11:50 | ユダヤ教の倫理におけるサランターの思想に関する一考察     | 青木 良華 (東大)      |
| 8. 11:55-12:15 | I. プロイアーとS.R. ヒルシュ—律法の遵守をめぐる—  | 丸山 空大 (東京外国語大)  |
| 9. 12:20-12:40 | シャイ・アグノンンのバル・シテム・トヴ理解          | 平岡光太郎 (同志社大)    |

## 【午後】

- |                |                                |                |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 14:00-14:20 | サッフアールの伝承集における十二イマーム派思想と極端派批判  | 平野 貴大 (東大)     |
| 2. 14:25-14:45 | 真に敬虔な人とは—カリフ・アリーの「ハンマームの説教」より— | 佐野 東生 (龍大)     |
| 3. 14:50-15:10 | アーザル・カイヴァーンの神秘主義の原点『カイホスローの盃』  | 青木 健 (静岡文化芸術大) |
| 4. 15:15-15:35 | 近代イスラームにおける「神秘主義」言説            | 澤井 真 (日本学術振興会) |
| 5. 15:40-16:00 | 井筒「東洋哲学」とイスラーム研究               | 鎌田 繁 (東大)      |

9月17日 (日)

## 【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 「ムスリム国家ボスニア」—アイデンティティ形成と宗教意識—  | 立田由紀恵 (多摩大)     |
| 2. 9:25- 9:45  | 現代ムスリム社会の風紀取り締まり—勧善懲悪と宗教警察—    | 高尾賢一郎 (日本学術振興会) |
| 3. 9:50-10:10  | ワフバ・ズヘイリーのイスラーム法管轄権について        | 四戸 潤弥 (同志社大)    |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教における教育と学習—イバード派イスラーム思想の事例から— | 近藤 洋平 (東京外国語大)  |
| 5. 10:40-11:00 | イスラーム「回儒学」研究とその可能性として          | 阿里木托和提 (東北大)    |
| 6. 11:05-11:25 | 六信四行—戦前の日本人はいかにイスラームを理解したか—    | 小村 明子 (上智大)     |
| 7. 11:30-11:50 | モロッコのアルガンオイル生産女性組合にみる農村女性の自己実現 | 岩崎 真紀 (九大)      |
| 8. 11:55-12:15 | 結婚に関するアラビア語言説から見る「イスラーム」の多様な含意 | 八木久美子 (東京外国語大)  |

## 【午後】

パネル 公的領域の多元性を踏まえた宗教の多元性とそれぞれの社会的機能 代表者：津城 寛文

- |             |                        |               |
|-------------|------------------------|---------------|
| 13:15-15:15 | 宗教間対話の諸次元と公的機能         | 武藤 亮飛 (新宗連)   |
|             | 公的領域の諸次元における神道の諸相      | 菅 浩二 (國學院大)   |
|             | 宗教多元主義と公的領域            | 保呂 篤彦 (筑波大)   |
|             | 公共宗教としてみたイスラームの普遍性と世俗性 | 塩尻 和子 (東京国際大) |
|             | コメンテータ・司会：津城 寛文 (筑波大)  |               |

# 第6部会 (215教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 『妙法華』寿量品に対する智顛と吉蔵の解釈の同異        | 林 瑞蘭(立正大)       |
| 2. 9:25-9:45   | 漢訳『法華経』に於ける「正法」と「妙法」           | 前川 健一(創価大)      |
| 3. 9:50-10:10  | 善導における見仏の一考察                   | 藤雄 正受(龍大)       |
| 4. 10:15-10:35 | 智儼に於ける浄土論の一考察                  | 佐藤 海音(立正大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 『菩薩戒本持犯要記』の日本的展開               | 金 炳坤(身延山大)      |
| 6. 11:05-11:25 | 古式金銅仏の光背形態                     | 内藤 善之(立正大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 円珍『法華論記』の天台章疏引用について—三平等を中心として— | 浅野 学(国際仏教学大学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 金沢文庫蔵『禅宗法語』について                | 高柳さつき(中村元東方研究所) |
| 9. 12:20-12:40 | 近世浄土宗における融合主義の展開—義山と獨湛の間—      | 陳 敏齡(輔仁大)       |

【午後】

- |                |                               |              |
|----------------|-------------------------------|--------------|
| 1. 14:00-14:20 | 近代日本仏教のアジア布教研究について            | 野世 英水(龍大)    |
| 2. 14:25-14:45 | カンボジアにおける聖と俗—仏教政策と僧団の応答をめぐって— | 大坪加奈子(九大)    |
| 3. 14:50-15:10 | ハワイにおける教団組織の形成過程—布哇浄土宗教団を事例に— | 魚尾 和瑛(大正大)   |
| 4. 15:15-15:35 | 現代中国における「日本仏教」の逆輸入現象について      | 何 燕生(郡山女子大)  |
| 5. 15:40-16:00 | 東アジア周縁仏教圏の構想                  | 末木文美士(国際日文研) |

9月17日(日)

【午前】

- |                |                         |                  |
|----------------|-------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 四聖種における神変               | 筒井 奈々            |
| 2. 9:25-9:45   | 『二万五千頌般若経』における菩薩の区分について | 鈴木 健太(北海道武蔵女子短大) |
| 3. 9:50-10:10  | 瑜伽行派における四神足解釈について       | 北山 祐誓(龍大)        |
| 4. 10:15-10:35 | 『五蘊論安慧釈』における作用をめぐる論争    | 那須 円照(龍大)        |
| 5. 10:40-11:00 | インド大乘仏教経典に見られる戦争論       | 杉木 恒彦(広島大)       |
| 6. 11:05-11:25 | アティシャとラトナーカラシャーンティ      | 望月 海慧(身延山大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 国家神と神託官—チベットのネーチュン—     | 津曲 真一(東洋英和女学院大)  |
| 8. 11:55-12:15 | インドにおける終焉期の仏教—南インドを中心に— | 高島 淳(東京外国語大)     |

【午後】

- |  |                      |
|--|----------------------|
| <b>パネル 総力戦下の宗教系大学・専門学校における「理念」の変質</b>    | 代表者：江島 尚俊            |
| 13:15-15:15 靖国神社事件以降の上智大学はいかに総力戦体制に対応したか | ケイト・ワイルドマン・ナカイ(上智大)  |
| 護法から国益へ—総力戦体制下における大正大学を中心に—              | 三浦 周(大正大)            |
| 総力戦体制下におけるプロテスタント系神学校の変容                 | 齋藤 崇徳(大学改革支援・学位授与機構) |
|  | コメンテータ：柴田 泰山(大正大)    |
|  | 司会：江島 尚俊(田園調布学園大)    |

# 第7部会 (214教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                                |                    |
|----------------|--------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 浄土教における仏身論の意義                  | 菱木 政晴              |
| 2. 9:25- 9:45  | 親鸞における三尊観の構想                   | 安藤 章仁(早大)          |
| 3. 9:50-10:10  | 親鸞聖人の「自信教人信」に関する一考察            | 奥田 桂寛(浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 4. 10:15-10:35 | 真宗における「正信念仏偈」の註釈態度             | 山崎 真純(龍大)          |
| 5. 10:40-11:00 | 本願寺における「坂東曲」再考                 | 御手洗隆明(真宗大谷派教学研究所)  |
| 6. 11:05-11:25 | 地域社会における妙好人の位置—近世『妙好人伝』研究の一視点— | 谷口 愛沙(大谷大)         |
| 7. 11:30-11:50 | 真宗門徒の「民俗語彙」の意義をめぐって            | 本林 靖久(大谷大)         |
| 8. 11:55-12:15 | 病中における浄土認識の構造—「極楽いぶかしくば〜」再考—   | 神居 文彰(佛教大)         |
| 9. 12:20-12:40 | 真宗学における「実践」研究の動向と課題            | 入江 楽(龍大)           |

【午後】

<b>パネル 仏教における〈教化〉の諸相—近世から近代へ—</b>	代表者：岩田 真美
14:00-16:00 近世における東本願寺僧侶の教化活動—加賀藩領を事例に—	芹口真結子(一橋大)
明治10年代の仏教演説における教化の諸相	星野 靖二(國學院大)
明治期の妙好人伝と女性教化	岩田 真美(龍大)
田中智学の日蓮主義運動における教化の諸相	ユリア・ブレニナ(同朋大)
	コメンテータ：谷川 穰(京大)
	司会：星野 靖二(國學院大)

9月17日(日)

【午前】

- |                |                               |                |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 宗教者の社会参画をめぐる実践と研究の相互作用        | 金子 昭(天理大)      |
| 2. 9:25- 9:45  | 「復興・創生期間」における震災被災地の支援活動と宗教の役割 | 齋藤 知明(大正大)     |
| 3. 9:50-10:10  | 宗教と新たなつながりの創出—防災・見守り・観光—      | 稲場 圭信(阪大)      |
| 4. 10:15-10:35 | 世俗内宗教—俗人の日常的組織活動における宗教現象—     | 清水 俊毅(東大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教組織が母体となる社会福祉事業における宗教者の役割    | 岡光 信子(中央大)     |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教太陽光発電所のネットワーク               | 深田伊佐夫(中央学術研究所) |
| 7. 11:30-11:50 | 日本の環境主義における宗教的資源の活用について       | 黒田純一郎(東大)      |
| 8. 11:55-12:15 | 技術と宗教—ネオ・アニミズムを巡る議論について—      | 木村 武史(筑波大)     |

【午後】

<b>パネル 多死社会における仏教者の社会的責任</b>	代表者：小川 有閑
13:15-15:15 超高齢・多死社会に僧侶が求められるもの	小川 有閑(大正大)
高齢者福祉施設、医療施設における宗教的ケアの現状とニーズ	高瀬 頭功(大正大)
ケア提供者の宗教観とケア観	問芝 志保(筑波大)
宗教者と医療者の協働の可能性—医療者の立場から—	岡村 毅(東京都健康長寿医療センター)
	コメンテータ：林田 康順(大正大)
	司会：小川 有閑(大正大)

# 第8部会 (212教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 河口慧海と法華經                       | 庄司 史生(立正大)      |
| 2. 9:25-9:45   | 近代仏教と修養—村上專精の教育論を中心として—        | オリオン・クラウタウ(東北大) |
| 3. 9:50-10:10  | 大正期親鸞像の形成—本願寺教団の動向を中心に—        | 内手 弘太(龍大)       |
| 4. 10:15-10:35 | 暁烏敏の思想—その生成と構造—                | 村山 保史(大谷大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 『実験の宗教』における佐々木月樵の修養論           | 鈴木 朋子(お茶の水女子大)  |
| 6. 11:05-11:25 | 多田鼎の俗諦論に関する一考察                 | 春近 敬(大正大)       |
| 7. 11:30-11:50 | 和の世界観—聖徳太子と金子大榮—               | 東 真行(大谷大)       |
| 8. 11:55-12:15 | 鈴木大拙の『日本的靈性』に関して               | 横田 理博(九大)       |
| 9. 12:20-12:40 | 市川白弦の一休論における「即」の論理—大拙禅学の受容として— | 飯島 孝良(東大)       |

【午後】

- |             |                                      |                   |
|-------------|--------------------------------------|-------------------|
| <b>パネル</b>  | <b>連合国のアジア戦後処理と宗教—史料・現地調査からの再検討—</b> | 代表者：平良 直          |
| 14:00-16:00 | 忘却された戦後宗教史—米国・沖縄の公文書史料と現地調査から—       | 中野 毅(創価大)         |
|             | 占領期ソ連のシベリア抑留者教育—『日本新聞』の描く天皇像—        | 宮川 真一(創価大)        |
|             | 米軍政期韓国におけるキリスト教と国家権力                 | 白 恩正(創価大)         |
|             | 沖縄初期占領期におけるUSCARとキリスト者               | 平良 直(倫理研究所)       |
|             | 捕虜死者と戦後処理—豪カウラ日本人墓地をめぐる諸問題—          | 田村 恵子(オーストラリア国立大) |
|             |                                      | 司会：平良 直(倫理研究所)    |

9月17日(日)

【午前】

- |                |                              |                  |
|----------------|------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 日蓮における「こころみ」について             | 桑名 法晃(立正大)       |
| 2. 9:25-9:45   | 日蓮における地涌・上行菩薩の自覚をめぐって        | 間宮 啓壬(身延山大)      |
| 3. 9:50-10:10  | 近現代における日蓮著『立正安国論』の題号釈をめぐって   | 矢吹 康英(立正大)       |
| 4. 10:15-10:35 | 堅樹院日寛の顕本論                    | 水谷 進良(立正大)       |
| 5. 10:40-11:00 | 広蔵院日辰教学の研究—下種論を視点として—        | 神田 大輝(立正大)       |
| 6. 11:05-11:25 | 初期日蓮教団と真名本『曾我物語』             | 長倉 信祐(日蓮正宗教学研鑽所) |
| 7. 11:30-11:50 | 長松日扇における釈教歌の一考察—誘法に関する歌を中心に— | 武田 悟一(立正大)       |
| 8. 11:55-12:15 | 近代の日蓮伝記絵馬について                | 望月 真澄(身延山大)      |

【午後】

- |             |  |                    |
|-------------|--|--------------------|
| <b>パネル</b>  | <b>世俗のなかの「宗教改革」—日米独自のEthical Cultureの役割—</b> | 代表者：栗田 英彦          |
| 13:15-14:55 | 日本型政教分離と修養—丁酉倫理会を中心に—                        | 栗田 英彦(日本学術振興会)     |
|             | フェリックス・アードラーにおける〈人間性の宗教〉の思想と実践               | 庄司 一平(東北大)         |
|             | 19世紀末ドイツの倫理文化主義と民族主義的宗教について                  | 齋藤 正樹(早大)          |
|             |  | コメンテータ：吉永 進一(舞鶴高専) |
|             |  | 司会：栗田 英彦(日本学術振興会)  |

# 第9部会 (319教室)

9月16日 (土)

## 【午前】

- |                |   |                   |
|----------------|---|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 呪術の新理論—ウパニシャッドにおける不死概念の分析から—              | 高山 善光 (広島大)       |
| 2. 9:25- 9:45  | ヒンドゥー教における河川の信仰                           | 宮崎 智絵 (立正大)       |
| 3. 9:50-10:10  | ヒンドゥー教における施餓鬼—「16の団子供え」解釈と形成史—            | 虫賀 幹華 (イラーハーバード大) |
| 4. 10:15-10:35 | イギリス宗教教育におけるヒンドゥー教—宗教教科書を資料に—             | 澤田 彰宏 (拓殖大)       |
| 5. 10:40-11:00 | Times of Indiaに見る近代インドの“secularism”の語用の展開 | 富澤 かな (東大)        |
| 6. 11:05-11:25 | 死の超克—翻訳されたインドの予兆学と冥界説話—                   | 榊 和良 (北海道武蔵女子短大)  |
| 7. 11:30-11:50 | 移民社会とヒンドゥー教—マレーシア・イポーの司祭養成の事例—            | 山下 博司 (東北大)       |
| 8. 11:55-12:15 | ヴィヴェーカーナンダの4つのヨーガ論—形成と展開をめぐって—            | 平野久仁子 (上智大)       |
| 9. 12:20-12:40 | パールシーとアヴェスタ学習                             | 香月 法子 (中央大)       |

## 【午後】

- |                |                                |               |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 14:00-14:20 | 世俗主義が崩り立てる宗教対立—ネパールの世俗主義化について— | 丹羽 充 (一橋大)    |
| 2. 14:25-14:45 | ビクニによる正典の読み直し—ネパールにおける儀礼意味の付与— | 工藤さくら (東北大)   |
| 3. 14:50-15:10 | インドネシアにおける墓園ビジネスの展開            | 木村 敏明 (東北大)   |
| 4. 15:15-15:35 | 天文学的知識による煉丹理論—趙友欽から陳致虚へ—       | 野村 英登 (二松學舎大) |
| 5. 15:40-16:00 | (発表なし)                         |               |

9月17日 (日)

## 【午前】

- |                |                               |                  |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | シヨナ社会における異人水精としてのジュズ          | 松平 勇二 (日本学術振興会)  |
| 2. 9:25- 9:45  | 祈りか供犠か?—カナダ先住民クリー族のサンダンス儀礼—   | 谷口 智子 (愛知県立大)    |
| 3. 9:50-10:10  | アレヴィー・エスニシティの変容—生存戦略と宗教との狭間で— | 佐島 隆 (大阪国際大)     |
| 4. 10:15-10:35 | 繁栄の福音運動は現代のカーゴ・カルトか?          | 村上 辰雄 (上智大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 韓国の巫俗儀礼と憑霊                    | 川上 新二 (岐阜市立女子短大) |
| 6. 11:05-11:25 | タルコット・パーソンズと「愛の宗教」—禁欲と職業を越えて— | 大黒 正伸 (創価大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教性のポジティブな影響                  | 川端 亮 (阪大)        |
| 8. 11:55-12:15 | “人権”という概念表象をめぐって—宗教社会学的視座から—  | 丹羽 泉 (東京外国語大)    |

## 【午後】

- |  |                  |
|--|------------------|
| <b>パネル 近代日韓の宗教運動の「変容」—東アジアの文脈から—</b>     | 代表者：川瀬 貴也        |
| 13:15-15:15 近代教団と対峙する如来教—如来教機関紙『このたび』から— | 石原 和 (国立民博)      |
| 「近代(的)仏教」の語られ方—雑誌『朝鮮仏教』より—               | 川瀬 貴也 (京都府立大)    |
| 植民地朝鮮における予言と新宗教—『鄭鑑録』公刊とその意味—            | 朴 海仙 (立命館大)      |
| 大本をとり巻くふたつの「モンゴル」—戦前と戦後を比較して—            | 梶 龍輔 (駒大)        |
| 聖地とその意義—大韓天理教と天理教韓国教団の比較—                | 陳 宗炫 (京都府立大)     |
|  | 司会：川瀬 貴也 (京都府立大) |



# 第10部会 (317教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 大祓詞「神集へ神議り」と、古代王位継承時の群臣推戴との考察  | 東郷 茂彦 (國學院大)     |
| 2. 9:25- 9:45  | 允恭天皇記紀の探湯伝承における禍津日神について        | 稲田 智宏            |
| 3. 9:50-10:10  | 『簠簋内伝』は陰陽道書か                   | 鈴木 一馨 (中村元東方研究所) |
| 4. 10:15-10:35 | 陰陽道の地方伝播—中世東北の『簠簋』を中心に—        | 小池 淳一 (国立歴史民俗)   |
| 5. 10:40-11:00 | 山崎闇斎の神学における『日本書紀』神代巻の構造と解釈の一考察 | 久保 隆司 (國學院大)     |
| 6. 11:05-11:25 | 中世真言宗における春日信仰について              | 船田 淳一 (金城学院大)    |
| 7. 11:30-11:50 | 土御門家菩提所儀軌に関する考察                | 太田 俊明            |
| 8. 11:55-12:15 | 宣長神格化の諸相                       | 三ツ松 誠 (佐賀大)      |
| 9. 12:20-12:40 | 石河定源『藤樹先生学術定論』考                | 鈴木 保實            |

【午後】

- |                |                        |               |
|----------------|------------------------|---------------|
| 1. 14:00-14:20 | 近世人靈奉斎研究史の課題           | 松本 久史 (國學院大)  |
| 2. 14:25-14:45 | 人を神に祀る習俗—仙台藩と和霊信仰を事例に— | 劉 建華 (東北大)    |
| 3. 14:50-15:10 | 近世名古屋の東照宮祭と律令研究        | 鈴木 一彦 (名大)    |
| 4. 15:15-15:35 | 近世日本の飢饉における死と慰霊        | 朴 炳道 (東大)     |
| 5. 15:40-16:00 | 靈魂觀念の特質                | 米井 輝圭 (昭和女子大) |

9月17日(日)

【午前】

- |                |                               |                |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | (発表なし)                        |                |
| 2. 9:25- 9:45  | 本田親徳の「祓」の意義と行法—禁厭法を中心に—       | 並木 英子 (国際基督教大) |
| 3. 9:50-10:10  | 和辻哲郎における「神」・「仏」・「空」について       | 山本栄美子 (東大)     |
| 4. 10:15-10:35 | 日本の宗教美術言説—フェノロサ、岡倉天心から姉崎嘲風へ—  | 中村 芳雅 (東大)     |
| 5. 10:40-11:00 | 柳田国男の覚悟・国語教育                  | 富田 信隆 (駒大)     |
| 6. 11:05-11:25 | 近世日本の改暦と儒教的神国論                | 林 淳 (愛知学院大)    |
| 7. 11:30-11:50 | 近代仏教と仏暦—大日本仏暦会社版『和解 仏暦一斑』を読む— | 岡田 正彦 (天理大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 昭和戦中期の頒暦—神宮大麻との関連から—          | 下村 育世 (東洋大)    |

【午後】

- |                                     |                  |
|-------------------------------------|------------------|
| <b>パネル 学校教育における伝統的な言語文化としての神話教材</b> | 代表者：大澤千恵子        |
| 13:15-14:55 帝国日本の教科書にみる天皇神話         | 石井 正己 (東京学芸大)    |
| 神話教材を用いた国語科教育の現状と課題                 | 大澤千恵子 (東京学芸大)    |
| 日本の学校教育における伝統的な言語文化教育—過去と現在—        | 松村 一男 (和光大)      |
| 神話教材の課題と展望                          | 藤井 健志 (東京学芸大)    |
|                                     | 司会：大澤千恵子 (東京学芸大) |

# 第11部会 (316教室)

9月16日 (土)

【午前】

- |                |                               |               |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 日本の台湾統治における宗教政策の変遷            | 李 争融 (創価大)    |
| 2. 9:25- 9:45  | 日本型平等思想の淵源—天皇赤子と一君万民をめぐる—     | 森島 豊 (青山学院大)  |
| 3. 9:50-10:10  | 大正天皇大典と地域神職会—埼玉県神職会での活動を中心に—  | 原田 雄斗 (一橋大)   |
| 4. 10:15-10:35 | 寛克彦による神道論の構造と特質—『神ながらの道』を中心に— | 中道 豪一 (広島修道大) |
| 5. 10:40-11:00 | 日本型儒教祭祀の形成—明治維新期の国家祭祀構築と整備—   | 井上 智勝 (埼玉大)   |
| 6. 11:05-11:25 | 国民意識と宗教                       | 浅野 章          |
| 7. 11:30-11:50 | 国家による動員と神道との関係について            | 田中 悟 (摂南大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 1940年の「神道美術」展における言説と表象        | 石倉 孝祐 (神奈川大)  |
| 9. 12:20-12:40 | ビルマ方面における遺骨収集と戦友会             | 中山 郁 (國學院大)   |

【午後】

- |                |                            |                 |
|----------------|----------------------------|-----------------|
| 1. 14:00-14:20 | 近代移行期における日蓮宗不受不施派と地域社会     | 内藤 幹生 (千葉県文書館)  |
| 2. 14:25-14:45 | 東三河に見る隠れキリシタンの痕跡           | 春日井眞英 (東海学園大)   |
| 3. 14:50-15:10 | 通俗的排耶書の論理と倫理               | 小野 久志 (聖学院大)    |
| 4. 15:15-15:35 | 神儒仏三教の「一致」と「各別」            | 森 和也 (中村元東方研究所) |
| 5. 15:40-16:00 | 「勤王僧」の顕彰に関する一考察—瀧谷寺道雅を中心に— | 高橋 秀慧 (大正大)     |

9月17日 (日)

【午前】

- |                |                              |               |
|----------------|------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 松尾社の社司論争裁判—元和～寛文年間の神社行政を背景に— | 海上 直士         |
| 2. 9:25- 9:45  | 城と浅間社                        | 大谷 正幸         |
| 3. 9:50-10:10  | 明治期における富士講系教派神道による他信仰との交流    | 今井 功一         |
| 4. 10:15-10:35 | 白山一雪の民俗信仰—                   | 小林 一葵         |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教民俗学の形成における仏教の再認識—五来重を事例に—  | 阿部 友紀 (東北大)   |
| 6. 11:05-11:25 | 「宗教的自叙伝」を読むことについて            | 長崎 誠人 (姫路大)   |
| 7. 11:30-11:50 | 斎藤秀一師の卒論と日記の復刻と非戦伝記の出版について   | 別府 良孝         |
| 8. 11:55-12:15 | 宗教系高等学校についての地方紙の言説—東北地方を対象に— | 高橋 嘉代 (福島学院大) |

【午後】

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| <b>パネル 国体明徴運動下の社会と宗教—昭和10年前後を中心に—</b>                   | 代表者：小島 伸之                   |
| 13:15-15:15 谷口雅春における天皇と日本—昭和10年前後の言説—<br>「国体明徴」と神社界・宗教界 | 寺田 喜朗 (大正大)<br>藤田 大誠 (國學院大) |
| 昭和前期の宗教者における日系移民と国家帰属                                   | 高橋 典史 (東洋大)                 |
| 昭和戦前・戦時期における「聖地」ツーリズム                                   | 平山 昇 (九州産業大)                |
| 昭和10年前後の消防と国体   | 小島 伸之 (上越教育大)               |
|   | 司会：小島 伸之 (上越教育大)            |

# 第12部会 (315教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                         |                  |
| 2. 9:25-9:45   | 千崎如幻の生涯と思想                     | 末村 正代 (関西大)      |
| 3. 9:50-10:10  | 天理よろづ相談所「憩の家」と「おさづけ」           | 深谷 耕治 (天理大)      |
| 4. 10:15-10:35 | 沖縄の新宗教における思想と実践—龍泉を事例に—        | 長島三四郎 (大正大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 白光真宏会・五井昌久による平和運動の思想的特徴        | 吉田 尚文 (國學院大)     |
| 6. 11:05-11:25 | 民衆宗教とおかげの世界観—明治末大正期金光教を中心に—    | 村山 由美 (宗教情報センター) |
| 7. 11:30-11:50 | 日本におけるエホバの証人と予言—脱会者へのインタビューから— | 山口 瑞穂            |
| 8. 11:55-12:15 | 病気治しと宗教—「サイエントロジー宗教」の場合—       | 隈元 正樹 (東洋大)      |
| 9. 12:20-12:40 | 瞑想を指し示すことば—グループインタビューからの知見—    | 葛西 賢太 (宗教情報センター) |

【午後】

- |                |                                  |                  |
|----------------|----------------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | Religion of No Religionとしての新靈性運動 | 村川 治彦 (関西大)      |
| 2. 14:25-14:45 | オンライン空間におけるスピリチュアリティの表出と排他性      | 伊藤 慈晃 (立教大)      |
| 3. 14:50-15:10 | 怪異表象の現代の特徴について                   | 古山 美佳 (國學院大)     |
| 4. 15:15-15:35 | 現代占星術の神智学的傾向に対する一考察              | 比留間亮平 (東洋英和女学院大) |
| 5. 15:40-16:00 | スピリチュアル・マーケットと宗教ツーリズム            | 山中 弘 (筑波大)       |

9月17日(日)

【午前】

- |                |                               |                   |
|----------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                        |                   |
| 2. 9:25-9:45   | 奄美群島の神社と民俗信仰との関係をめぐる研究にむけて    | 町 泰樹 (鹿児島高専)      |
| 3. 9:50-10:10  | 近代における伊勢信仰の変化—北部九州における参宮者の動向— | 八幡 崇経             |
| 4. 10:15-10:35 | 社寺地における法定外公共物の維持管理をめぐる課題      | 山田 親義 (埼玉大)       |
| 5. 10:40-11:00 | 神仏分離令への対応と観光化—修験系集団を事例として—    | 高田 彩 (大正大)        |
| 6. 11:05-11:25 | ムラの天神講から地域の天神講へ—宮城県名取市植松の事例—  | 相澤 出 (爽快会岡部医院研究所) |
| 7. 11:30-11:50 | 限界集落の暮らしと神社神道—高知県旧仁淀村の集落を事例に— | 冬月 律 (モロロジー研究所)   |
| 8. 11:55-12:15 | 神社による障害者福祉実践を可能にせしめた要因に関する研究  | 辰巳佳寿恵 (大阪体育大)     |

【午後】

- |                                   |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| <b>パネル 戦後日本の宗教者平和運動研究を更新する</b>    | 代表者：大谷 栄一            |
| 13:15-15:15 戦後日本の宗教者平和運動と東アジアの関わり | 大谷 栄一 (佛教大)          |
| 戦後日本の仏教界と靖国神社問題                   | 近藤俊太郎 (本願寺史料研究所)     |
| 戦後日本におけるキリスト教平和運動の変遷              | 川口 葉子 (文化庁)          |
| 戦後日本の新宗教平和運動における思想と実践             | 塚田 穂高 (日本学術振興会)      |
|                                   | コメンテータ：對馬 路人 (関西学院大) |
|                                   | 司会：大谷 栄一 (佛教大)       |

# 第13部会 (314教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                                |                |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                         |                |
| 2. 9:25-9:45   | 宗教観が青年期適応に及ぼす影響                | 山崎 洋史 (國學院大)   |
| 3. 9:50-10:10  | 精神病は病気か—萩原玄明を手がかりに—            | 長谷 瑞光          |
| 4. 10:15-10:35 | 瞑想と癒し—心身医学の観点から—               | 半田 栄一 (中央大)    |
| 5. 10:40-11:00 | 医療における宗教の受容について                | 森口 眞衣 (日本医療大)  |
| 6. 11:05-11:25 | 死後世界と脳—臨死の語りを考える—              | 北沢 裕 (東大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 日本人の臨死体験と「あの世」観                | 岩崎 美香 (明大)     |
| 8. 11:55-12:15 | 韓国における消極的安楽死と尊厳死—「死の自己決定権」の行方— | 洲上 恭子          |
| 9. 12:20-12:40 | 近年の北米心理学における死と宗教に関する研究について     | イーリヤ・ムスリン (日大) |

【午後】

パネル 聖と古代のファシズム

代表者：平藤喜久子

14:00-16:00 歴史と神話の間で—安田鞞彦の神話絵画—

平藤喜久子 (國學院大)

日本型ファシズムと学問の系譜—宇野圓空とその時代—

鈴木 正崇 (慶大)

歴史の欠如と民族の聖化—ルーマニア知識人の課題と苦悩—

新免光比呂 (国立民博)

表象しえぬ古代の表象—ドイツ・プレファシズム期の視覚文化—

深澤 英隆 (一橋大)

コメンテータ・司会：月本 昭男 (上智大)

9月17日(日)

【午前】

- |                |                                |                   |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                         |                   |
| 2. 9:25-9:45   | iPS細胞研究と宗教—人-動物キメラ研究の場合—       | 澤井 努 (京大)         |
| 3. 9:50-10:10  | いのちと向き合うケア                     | 沖永 隆子 (帝京大)       |
| 4. 10:15-10:35 | 過越の神秘とグリーフケア                   | 寺尾 寿芳 (聖カタリナ大)    |
| 5. 10:40-11:00 | 法蔵菩薩論と実存協同の思想—なぜ人はケアするのか—      | 坂井 祐円 (南山宗教文化研究所) |
| 6. 11:05-11:25 | 日本における仏教スピリチュアルケアの海外への紹介の試み    | 高橋 原 (東北大)        |
| 7. 11:30-11:50 | 認知症ケアにおける臨床宗教師の可能性—親鸞教学を基盤として— | 柱本 惇 (龍大)         |
| 8. 11:55-12:15 | 「ケアとしての宗教」再考                   | 宮本要太郎 (関西大)       |

【午後】

パネル 関与型研究の可能性と課題

代表者：弓山 達也

13:15-15:15 仏像制作ワークショップにおける「宗教性」

君島 彩子 (総合研究大学院大)

文化政策における地域資源の「活用」をめぐる

河東 仁 (立教大)

グリーフケアとしての儀礼—被災地における念仏講と観音巡礼—

吉水 岳彦 (大正大)

スピリチュアルケアにおける宗教性—自らの死生観の探求から—

山本佳世子 (天理医療大)

コメンテータ・司会：弓山 達也 (東京工業大)

# 第14部会 (312教室)

9月16日(土)

【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 弔意の媒体—中世における諷諭文の構成と修辭—         | 芳野 貴典 (総合研究大学院大) |
| 2. 9:25-9:45   | 中陰報恩説についての一試論                  | 榎屋 達也 (龍大)       |
| 3. 9:50-10:10  | 『葬祭略式』再考                       | 大番 彩香 (國學院大)     |
| 4. 10:15-10:35 | 近代日本における葬儀をめぐる神・仏・耶            | 武井 謙悟 (駒大)       |
| 5. 10:40-11:00 | 墓癖が成立する諸前提について                 | 土居 浩 (ものづくり大)    |
| 6. 11:05-11:25 | 困窮者の葬儀と「助葬」                    | 山田 慎也 (国立歴史民俗)   |
| 7. 11:30-11:50 | 技術がもたらす供養のデザイン—自動搬送式納骨堂の住職に訊く— | 瓜生 大輔 (東洋大)      |
| 8. 11:55-12:15 | イギリスにおける死と葬送の現在—自然葬の興隆に着目して—   | 内田 安紀 (筑波大)      |
| 9. 12:20-12:40 | 仏教寺院における永代供養墓会員が檀信徒になる移行要因     | 井上 治代 (東洋大)      |

【午後】

<b>パネル 宗教・障害・共同体—障害と共に生きることの宗教性—</b>	代表者：安藤 泰至
14:00-16:00 「人間になる」こととしてのスピリチュアリティ	安藤 泰至 (鳥取大)
社会福祉実践現場の現状におけるスピリチュアリティ	深谷 美枝 (明治学院大)
〈ラルシュ〉共同体の宗教性—「権利」と「祈り」—	寺戸 淳子 (専修大)
「社会モデル」の思想と宗教—共生する社会の構築に向けて—	頼尊 恒信 (滋賀県立大)
	コメンテーター：板井 正斉 (皇學館大)
	司会：安藤 泰至 (鳥取大)

9月17日(日)

【午前】

- |                |                                |                      |
|----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 善光寺信仰と月水護符                     | 小林 順彦 (大正大)          |
| 2. 9:25-9:45   | 白隠禅師の門下の女性弟子—政女および大橋女こと慧林尼の場合— | 竹下ルツジェリ・アンナ (京都外国語大) |
| 3. 9:50-10:10  | 「妊娠・出産」のスピリチュアリティ—『助産雑誌』の事例から— | 橋迫 瑞穂 (立教大)          |
| 4. 10:15-10:35 | 〈主婦〉の死生観—婦人雑誌『主婦之友』の言説分析—      | 菅 直子 (國學院大)          |
| 5. 10:40-11:00 | 天理教とジェンダー—「ふうふ」という教えをめぐる—      | 堀内みどり (天理大)          |
| 6. 11:05-11:25 | 19世紀アメリカの女性の社会運動と宗教            | 飯田 陽子 (東大)           |
| 7. 11:30-11:50 | 〈僧侶らしさ〉をめぐる交渉実践—日蓮宗女性僧侶の生活史から— | 丹羽 宣子 (一橋大)          |
| 8. 11:55-12:15 | セーフチャーチという取り組み                 | 薄井 篤子 (神田外語大)        |

【午後】

<b>パネル 政教関係の国際比較と新しい公共宗教論をめざして</b>	代表者：櫻井 義秀
13:15-15:15 政教関係の国際比較と公共宗教論の視点	櫻井 義秀 (北大)
モンゴルにおける政教関係と越境する宗教的公共活動	滝澤 克彦 (長崎大)
マイダン革命とウクライナ諸教会の社会貢献活動	高橋沙奈美 (北大)
台湾のキリスト教徒による靖国参拝と独立運動	藤野 陽平 (北大)
「宗教と和諧」政策に見る中国の公共宗教論	川田 進 (大阪工業大)
	司会：櫻井 義秀 (北大)

# 『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

メールでの送信のみとし、大会当日の紙原稿の提出は不要です。

大会HPからダウンロードした『宗教研究』91巻別冊要旨・入力ファイル」(Word)に入力し、9月22日までに、添付ファイルで送信して下さい。

9月22日までに送信されなかった場合は、掲載不可となりますので、ご注意ください。

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 9月22日までに、『宗教研究』91巻別冊要旨・入力ファイル」に入力した要旨をメールの添付ファイルで送信し、
  - ② 提出原稿の書式が、規定にそっている方
- パネル発表は、代表者が発表者全員分をとりまとめて送信して下さい。

- ① **作成と提出方法** 締切日：9月22日 (受付開始：8月20日)  
送信先：『宗教研究』編集委員会 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

大会HPの「別冊要旨入力ファイル」のバーから、『宗教研究』91巻別冊・入力ファイル」(Word)をダウンロードし、

- ・ 1頁目 発表題目、発表者名、欧文タイトル、発表者名のローマ字表記 を入力
- ・ 2頁目 要旨 を入力

添付ファイルで送信して下さい。メールを受信した時は、必ず返信を出します。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

## ② 提出原稿の書式

縦書き 40字×40行以内 (総文字数ではありません) 用紙：A4横  
文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝 (ゴシック・太字の使用は不可)  
入力ファイルのページ設定の変更は不可。

縦書きのため、邦文中の数字は、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

注記、参考文献は、要旨中に丸括弧で挿入する。図表等の掲載は不可。

日本語が母語でない方は、必ず、日本語上の精査を受けて下さい。

### ・欧文タイトル

英語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

### ・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」(代表者)、「発表要旨」(発表者)、「コメント」(コメンテータ)を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

日本語以外の発表があった場合は、代表者の責任で、日本語の要旨を提出して下さい。

「パネルの主旨とまとめ」、「パネルの欧文タイトル」は、代表者が執筆する。

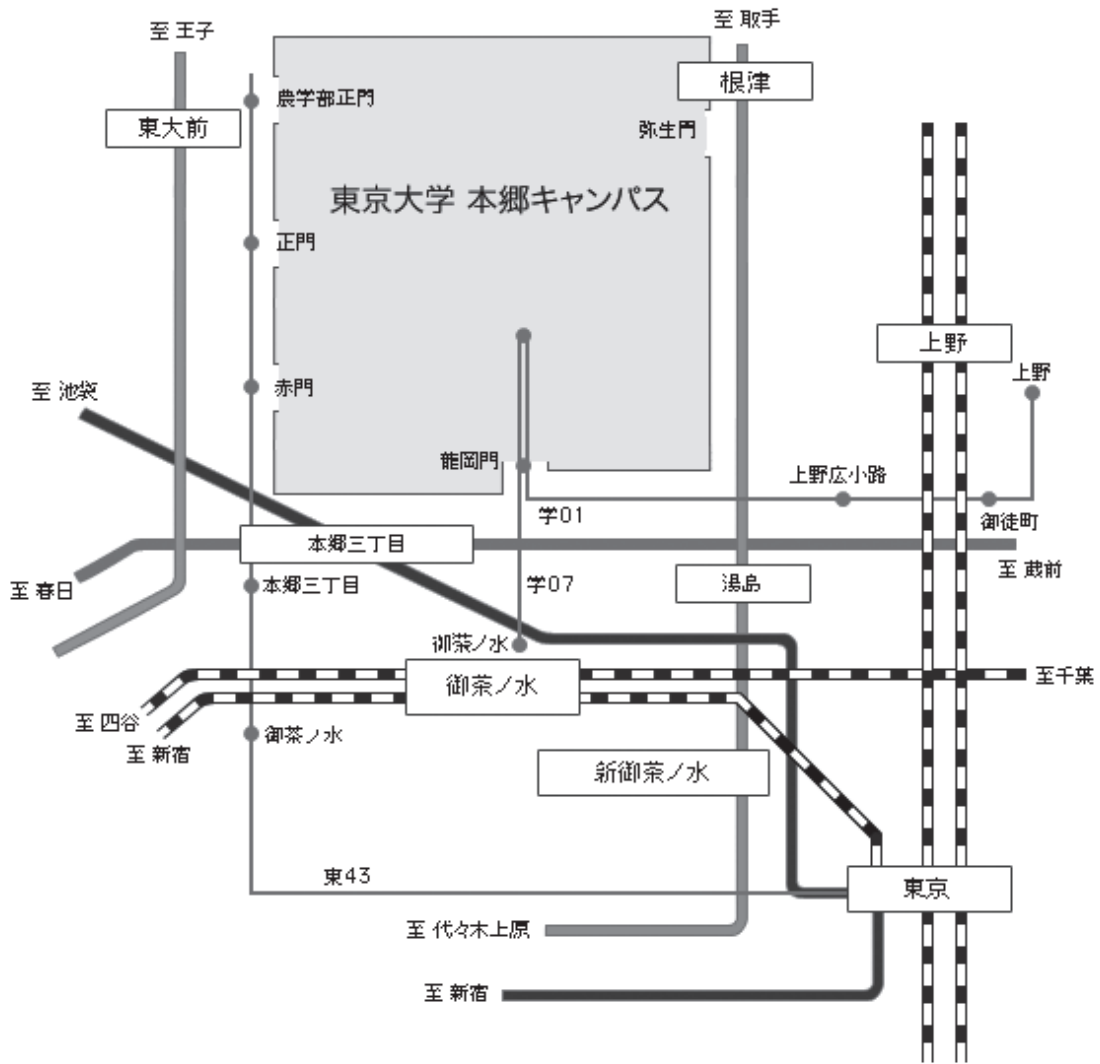
「コメント」も、代表者が、編集委員会に送信して下さい。

『宗教研究』編集委員会

**memo**

# 交通案内

## 東京大学本郷キャンパス



東京メトロ 丸ノ内線 本郷三丁目駅から徒歩 8 分  
 都営地下鉄 大江戸線 本郷三丁目駅から徒歩 6 分  
 東京メトロ 南北線 東大前駅から徒歩 5 分

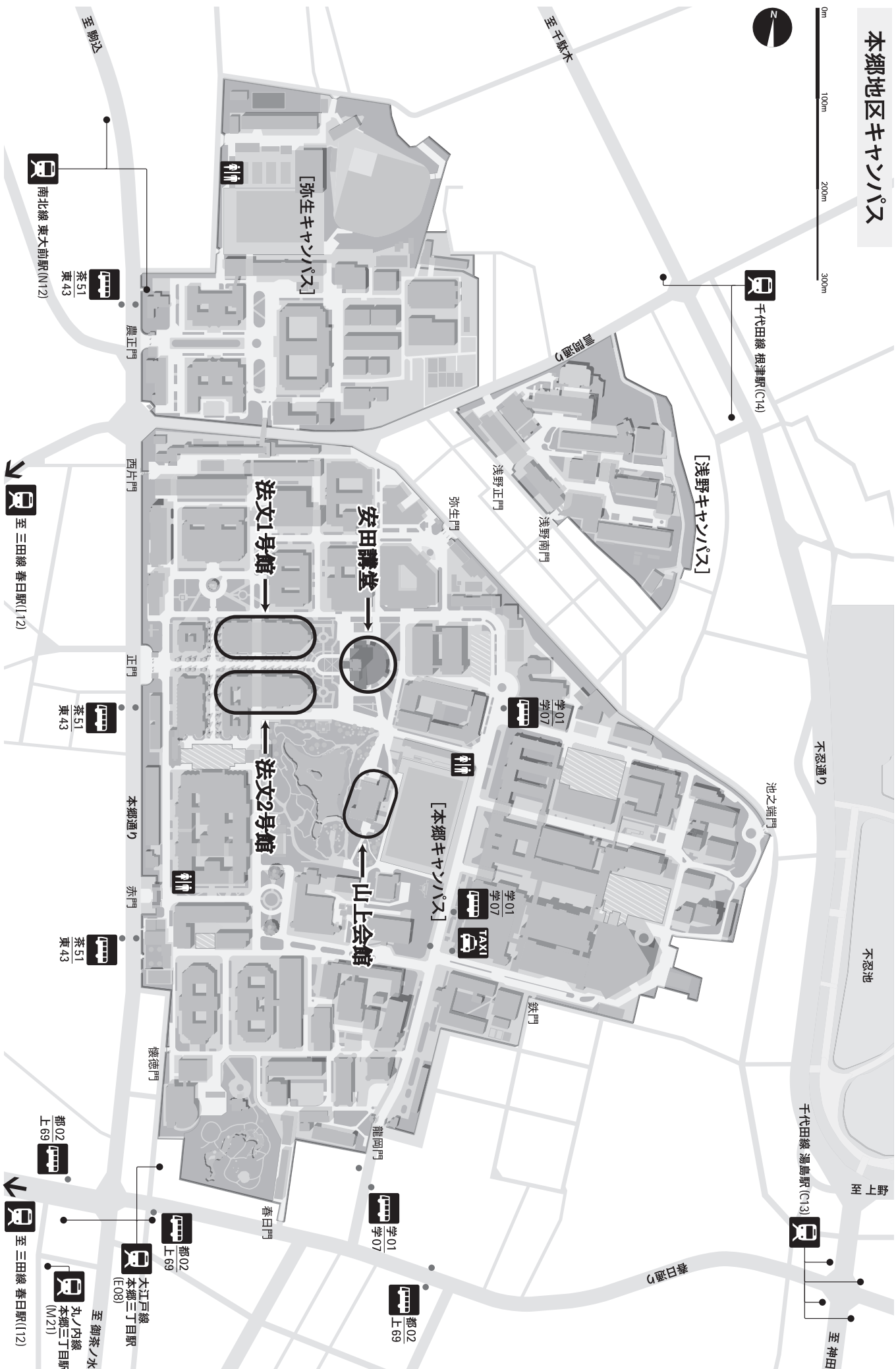
東京メトロ 千代田線 根津駅から徒歩 10 分  
 東京メトロ 千代田線 湯島駅から徒歩 10 分  
 都営地下鉄 三田線 春日駅から徒歩 10 分



# 本郷地区キャンパス

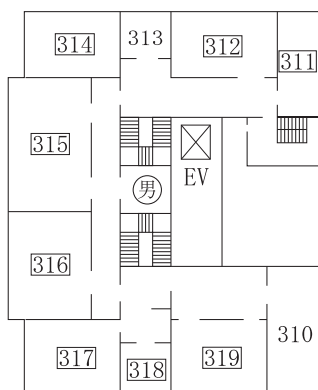


0m 100m 200m 300m



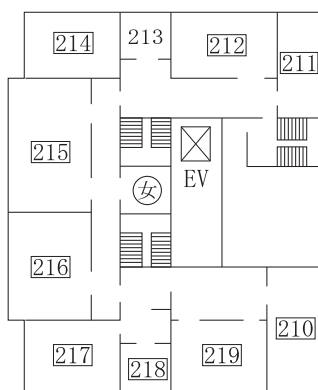
# 法文 1 号館案内図

3階



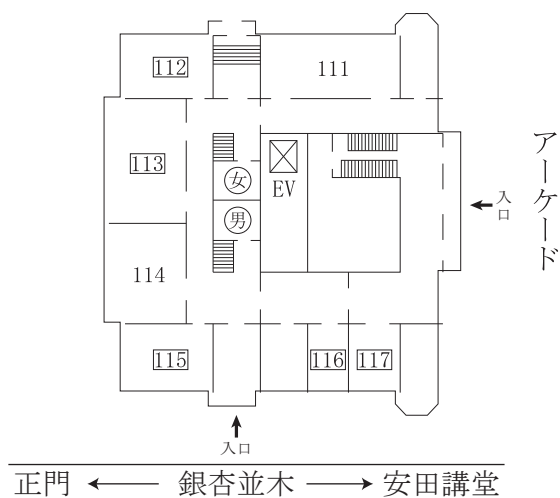
部会等	会場
第9部会	319教室
第10部会	317教室
第11部会	316教室
第12部会	315教室
第13部会	314教室
第14部会	312教室
会員休憩室	311教室
情報化委員会	318教室

2階



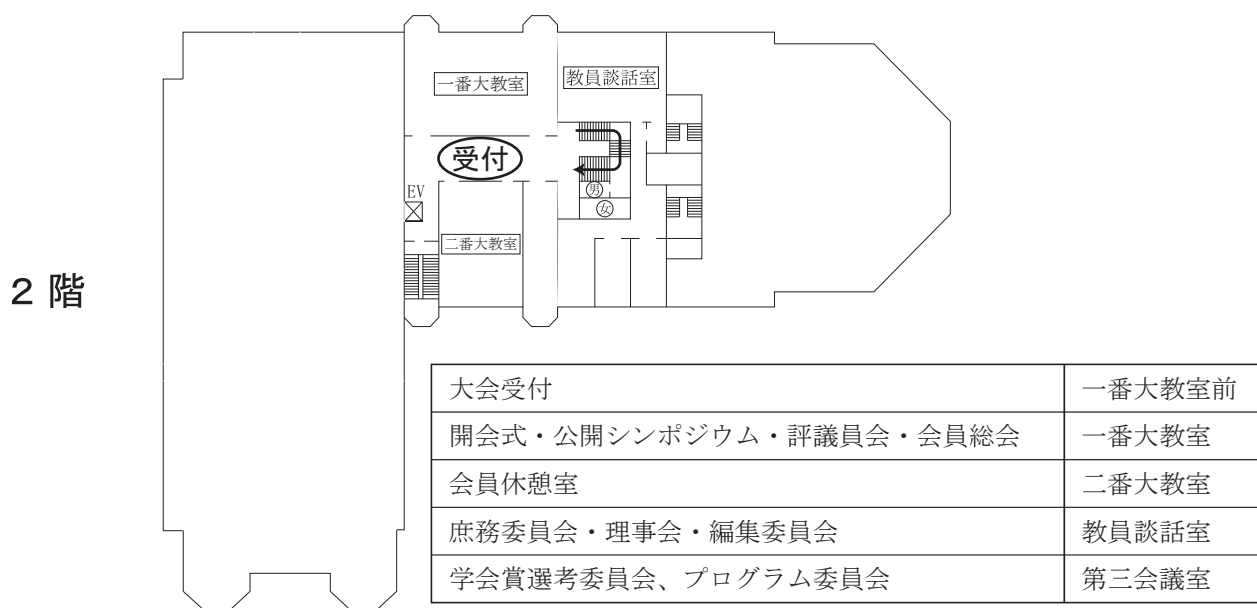
部会等	会場
第3部会	219教室
第4部会	217教室
第5部会	216教室
第6部会	215教室
第7部会	214教室
第8部会	212教室
会員休憩室	211教室
特別展示	210教室
国際委員会	218教室

1階

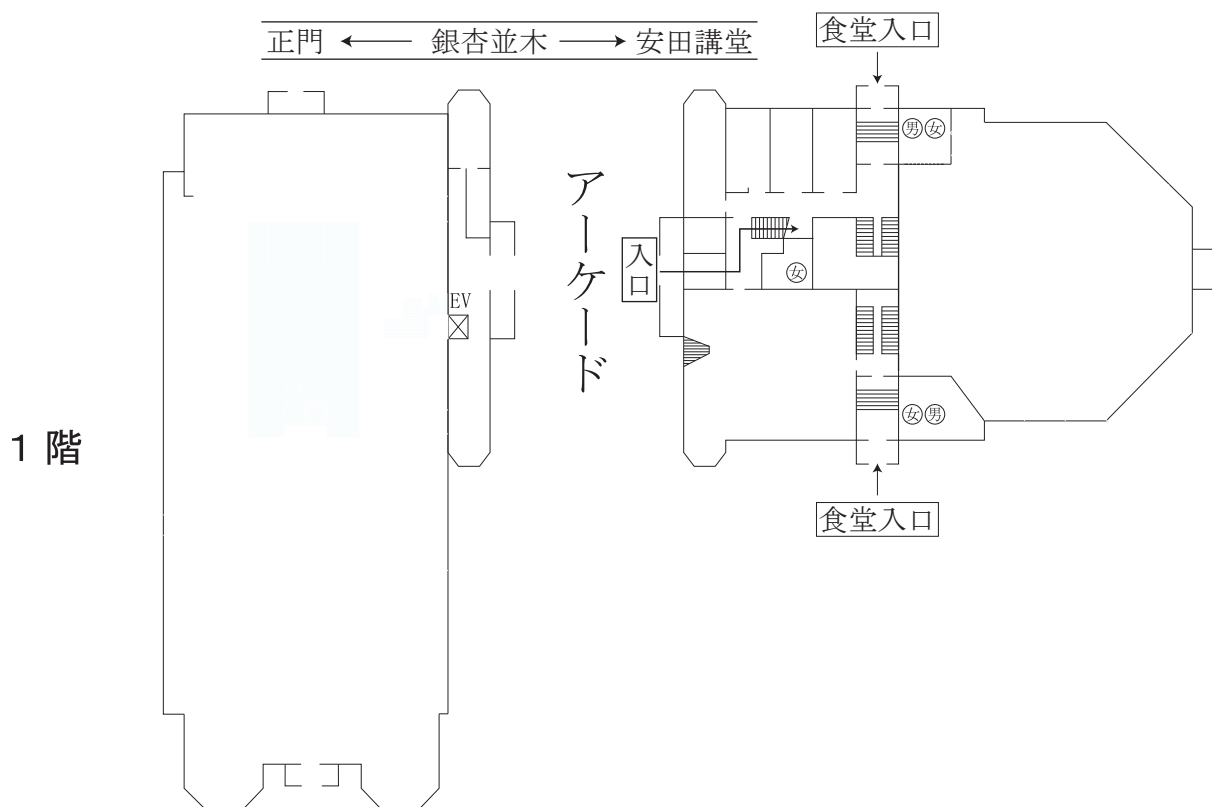


部会等	会場
第1部会	113教室
第2部会	112教室
書籍ブース	116、117教室
本部・クローク	115教室

## 法文2号館案内図



※第三会議室は3階になります。



本郷キャンパスに不案内な方は、まず正門（赤門先300メートルほど）をお入りいただき、安田講堂を正面に見て銀杏並木を直進し、右手の、煉瓦造りの2番目の建物（法文2号館）の「アーケード」にお入りください。アーケード中程の左手の入り口から建物にお入りいただき、学部事務室前（当日は閉室）の階段を上がっていただきますと、会場の一番大教室・二番大教室があり、その前の広い廊下が大会受付です。要所ごとに案内看板等を設置いたしますので、それに沿ってご来場ください。

**memo**



日本宗教学会

第76回学術大会 実行委員会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学文学部宗教学宗教史学研究室内

E-mail : jars76th@gmail.com

HP : [http://jpars.org/annual\\_conference/](http://jpars.org/annual_conference/)